

海田小学校教育目標

夢への挑戦「自ら学び 自ら伸びる」

めざす児童像

聞いて 考えて 行動できる子ども
 自他を大切にできる子ども
 目標をもち ねばり強く取り組む子ども
 体力づくりに励む子ども

本年度重点目標

- 確かな学力の定着**
- ・既習事項を活用して学習する。
 - ・基礎基本の定着と活用力の向上を図る。
 - ・無解答率0をめざしてあきらめない学習。
- 豊かな心の育成**
- ・自尊感情の育成・自己肯定感を高める。
 - ・あいさつ日本一をめざす。
 - ・共感的人間関係の育成
- 体力・耐力の育成**
- ・新体力テストの効果的な活用を行う。
 - ・外遊びの奨励
 - ・体育の授業改善を行う。
 - ・欠席0に向けた取組
 - ・生活リズムカレンダーの効果的な活用

評価項目 1

確かな学力の定着を図る。

評価指標

学力調査（4月全国・6月基礎基本・1月海田町）等の
 基礎問題通過率60%未満を0に近づける。

3

学力調査（4月全国・6月基礎基本・1月海田町）等の
 活用問題で平均正答率が全国、県平均を上回る。


4

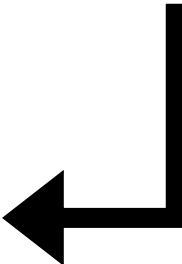


○基礎問題
 学校全体で60%未満の児童の割合が6.2%であった。

○活用問題
 (NRT2~4年では、7教科中6教科で正答率が全国平均を上回った。)

自己評価点

3

具体的方策	成果（○）と課題（▼）成果・課題（・）	改善策
<p>○校内研修による<u>主体的で学びあいのできる授業改善</u>。</p> <p>活用力をさらに高めるためには、日々の授業改善が必要だと考えています。</p>	<p>○「課題発見解決学習チェックリスト」を基に授業目標を立て、授業を行ったことで、具体的な目指す児童の姿、そのための授業改善の方策が意識された。また、課題やまとめが子どもたちのことばで設定されるようにする。※資料1</p> <p>○適応題に確実に取り組み、自力解決の場を設定する。</p> <p>○「実践一工夫」の取組を継続し、主体的で学びあいのできる授業を日々行えるようにした。</p> <p>▼道徳では議論を、外国語活動では課題設定を中心に、児童がより主体的に学べるように、単元全体の構成を考えていく必要がある。</p>	<p>・引き続き、主体的で学びあいのできる授業を意識した校内研修、授業研究・協議会・実践交流を行う。</p>  <p>・研究授業に向けて、事前に模擬授業を行ったり、指導を受ける機会を設けたりする。</p>

具体的方策	成果（○）と課題（▼） 成果・課題（・）	改善策
<p>○事前学習や海小タイム・家庭学習の充実。</p> <p>基礎力をさらに高めるためには、個別指導の充実や家庭学習の習慣化が必要だと考えていま</p> <p>○無解答0へ向けて、学習意欲の向上、学習指導の充実。</p> <p>○通過率30%未満の児童への個別指導の充実。</p> <p>○読書タイムの充実</p>	<p>○基礎タイム（朝学習・昼学習）で、全学年共通の取組を決めることができた。 （火）昼学習…視写 （金）昼学習…資料からの読み取り</p> <p>○海小タイムでは、習熟度別学習が可能な体制を整え、活用できた。</p> <p>▼家庭学習の交流を実施できなかった。</p> <p>○「基礎・基本」定着状況調査（5年生）における無解答率が国語2.7%、算数0.6%、理科0%であった。算数、理科においては、無解答0に向けての意欲の向上や学習指導の充実が図られた。</p> <p>▼国語の無解答率が他教科に比べ大きくなっている。</p> <p>○30%未満の児童を対象にした給食前学習を組織的に実施してきた。今後も学習意欲、学力の向上が図られるよう取り組んでいきたい。</p> <p>▼1～4年生の30%未満の児童の個別学習の充実を図る。</p> <p>○読書タイムを位置づけ、毎学期読書活動（本の紹介や帯作りなど）が行えるよう計画を立てることができた。※資料2 （木）昼学習…読書タイム</p>	<p>改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の交流を行い、系統性のある課題について考える。9月20日に実施 ・各学年で各種学力調査の結果分析を行うことで、全体の課題や無解答が多い児童を把握し、改善計画を立てる。   <p>5年生「本の紹介」</p>  <p>4年生「本の紹介」</p>

評価資料（一部）

1 学力調査結果

(1) 全国学力学習状況調査校内採点結果（第6学年対象：4月18日実施）

	通過率		
	海田小 (%)	全国 (%)	広島県 (公立) (%)
国語 A	80.0 (+5.2)	74.8	77.0
国語 B	64.0 (+6.5)	57.5	61.0
算数 A	84.6 (+6.0)	78.6	81.0
算数 B	52.3 (+6.4)	45.9	47.0

※ A問題（国語A，算数A）は基礎問題。B問題（国語B，算数B）は活用問題。

(2) 広島県「基礎・基本」定着状況調査（第5学年対象：6月13日実施）

	通過率			
	海田小 (%)		広島県 (%)	
国語タイプ I	81.6 (+10.1)	79.7 (+11.7)	71.5	68.0
国語タイプ II	71.0 (+18.6)		52.4	
算数タイプ I	85.3 (+8.2)	83.7 (+9.4)	77.1	74.3
算数タイプ II	78.6 (+13.2)		65.4	
理科タイプ I	87.5 (+17.1)	79.8 (+18.1)	70.4	61.7
理科タイプ II	70.4 (+16.9)		53.5	

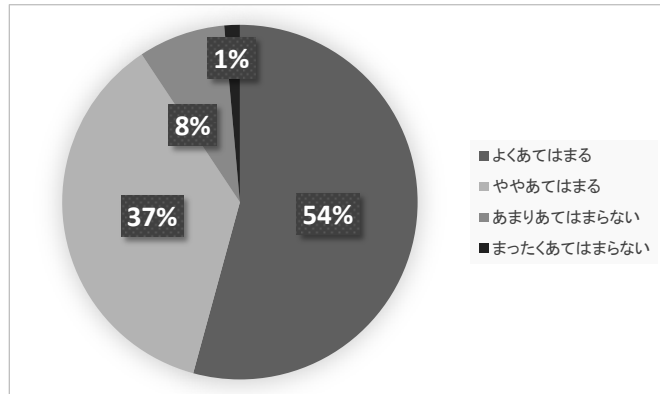
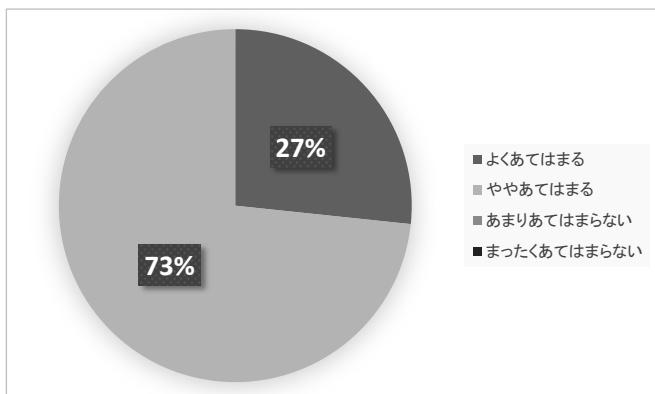
※ タイプ I（国語タイプ I，算数タイプ I，理科タイプ I）は基礎問題。
タイプ II（国語タイプ II，算数タイプ II，理科タイプ II）は活用問題。

2 教職員アンケートの結果

授業では、解決しようとする課題について、児童生徒に「なぜだろう」、「やってみよう」と思わせるような工夫や手立てを行っている。

3 児童アンケートの結果

授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみよう」と思います。



資料 1

課題発見解決学習チェックリスト

1 目的

- (1) 日々の自分の授業を振り返るとともに、課題を明らかにし、授業改善に努める。
- (2) 各学年ブロックで、課題をもとに次の月の授業目標を決め、教師自身が主体的に課題解決学習の授業に向けて取り組めるようにする。

2 方法

- (1) 月末の終会で、チェックリストにチェックをしながら自分の授業を振り返る。
- (2) 学年ブロックで課題を出し合い、改善策を話し合う。
- (3) 来月の授業目標を決める。
- (4) 目標に向けてできる手立て（改善策）を考え、授業で実践する。

9月の授業目標（低・中・高）

【チェックシート】

1 ←
2
3
→ 4
 よくできている できていない

課題	①	児童自ら「やってみたい」「解いてみたい」と思える課題をつくっているか。	1	2	3	4
見通し	②	どんな既習が使えるかを視覚化させることができているか。	1	2	3	4
	③	何を使って考えればよいかを示すことができているか。	1	2	3	4
課題づくり	④	児童に課題を出させるようにしているか。 (教師が児童の言葉をつないで作ってもよい)	1	2	3	4
	⑤	めあてがまとめにつながっているか。 (例) ～しよう。ではなく、～するにはどうすればよいか。	1	2	3	4
自力解決	⑥	机間指導で、児童の実態把握ができているか。 (例) だれから指名するか どのように深めていくか	1	2	3	4
集団解決	⑦	有効にかかわり合えるような場をつくっているか。 グループ・ペア・全体	1	2	3	4
	⑧	理由を話す、質問をする、友達とつながる(接続詞を使って)ような授業になっているか。	1	2	3	4
まとめ	⑨	児童の言葉でまとめができているか。 (教師がつないで作ってもよい)	1	2	3	4
適応題	⑩	毎時間行えているか。	1	2	3	4
振り返り	⑪	価値のある振り返りが行えているか。 ※学習内容、教科に応じて視点を与えて振り返りを行う。	1	2	3	4
その他	⑫	社会科や国語科で多くの文章を読ませるように心がけているか。	1	2	3	4

資料 2

平成 29 年度読書タイムを活用した各学年の取組みについて

【イベント実施計画】

	1 学期	2 学期	3 学期
1 年生 (例)	①本の紹介② ㊦ほんのひろば	①本の紹介② ㊦「おとうとねずみチロ」	①本の紹介③ ㊦「昔話を楽しもう」
	7月中旬	12月上旬	2月下旬
2 年生	①読んだ本を紹介しよう ㊦本は友だち	①おもしろかったところ を紹介しよう ㊦「言い伝えられているお 話をしろう」	①紙芝居をしよう ㊦「ニャーゴ」
	7月中旬	9月中旬	2月下旬
3 年生	①本の紹介① ㊦ゆうすげ村の小さな旅 館	①ブックカバー作り① ㊦サーカスのライオン	①本の紹介③ ㊦もちもちの木
	6月中旬	10月中旬	2月下旬
4 年生	①本の紹介① ㊦図書館へ行こう	①本の紹介② ㊦読書会を開こう	①ブックカバー作り① ㊦目的や形式に合わせて 書こう
	7月中旬	12月中旬	2月下旬
5 年生	①本の紹介 ㊦本は友達	①ポップ作り ㊦注文の多い料理店	①ビブリオバトル ㊦大造じいさんとがん
	7月中旬	10月上旬	2月下旬
6 年生	①読書アルバムを作ろう ㊦本は友達	①本の帯を作る ㊦本を読んで推薦しよう	①ビブリオバトル ㊦図書館に行こう
	7月中旬 ※年間通して	12月中旬	12月下旬～1月初旬